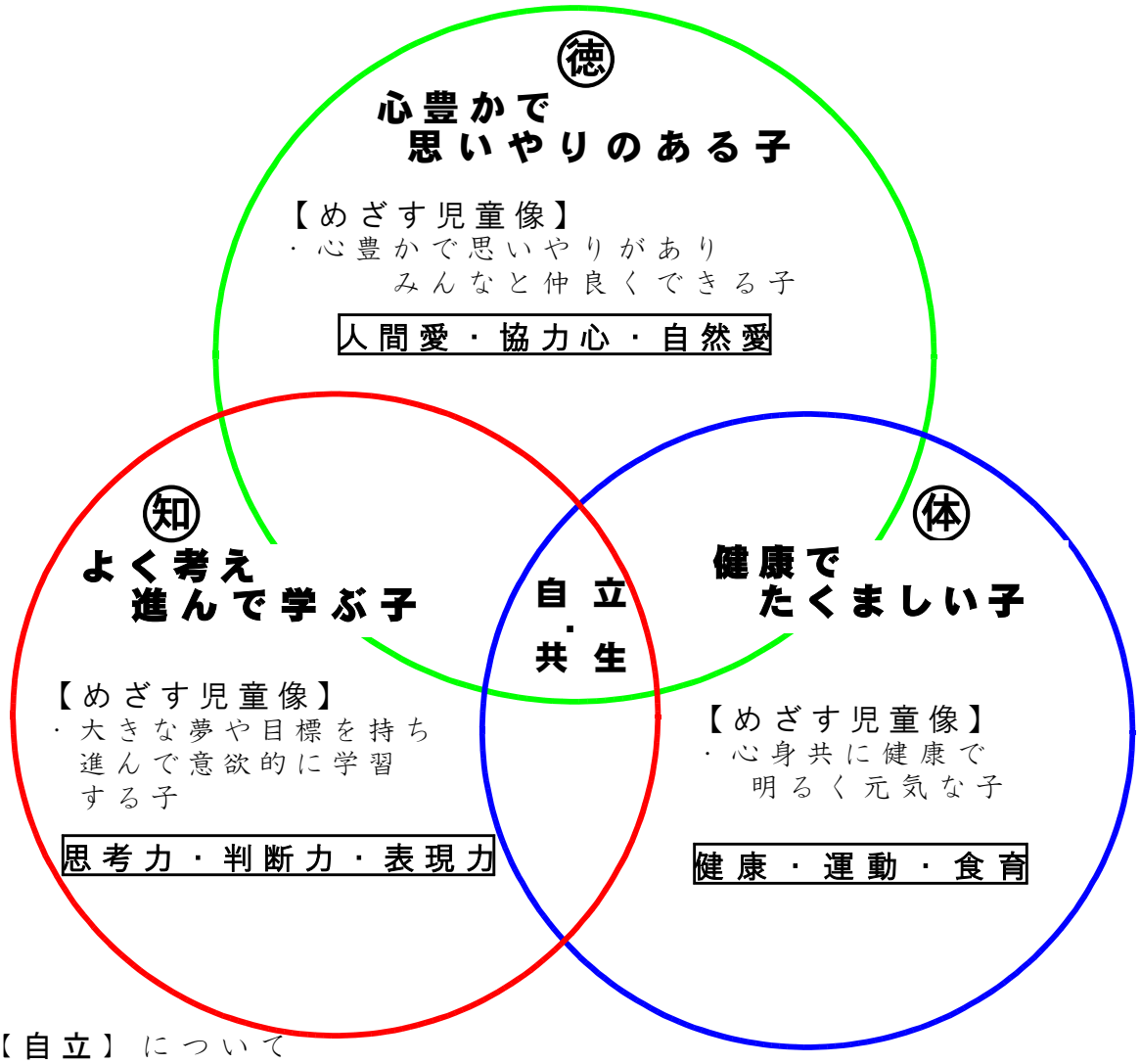
Ⅰ－１学校経営

１ 学校教育目標

本校では、教育基本法及び学習指導要領と県・市の教育目標を踏まえ、知育・徳育・体育の調和のとれた、心身ともに健康で心豊かな児童の育成をめざし、本教育目標を設定する。



【自立】について
社会の変化に主体的に対応し、自ら学び・自ら考える資質や能力を持った子どもの育成をめざす。

【共生】について
相手の立場を尊重し、協調性に富み、心やさしく・心身共にたくましい子どもの育成をめざす。

校訓

主体的に行動し、共に支え合う児童の育成
～ 自立と共生を目指して ～

小中一貫目標

自ら学び　感性豊かな　心身ともに健やかな児童生徒の育成

学 校 像

① 児童にとって学校が楽しく、意欲を持って学ぶ喜びを感じる学校
② 尊敬と信頼に満ち、個のよさを響かせ、集団で高め合う学校
③ 花と緑に囲まれた潤いのある学校
④ 家庭や地域との連携を図る開かれた学校

教師像

① 意欲と使命感に燃え、常に研究テーマを持ち、専門性に秀でた教師
② 教師と児童・保護者間の温かい人間関係づくりに努める教師
③ 児童理解に努め、よく聞き、よくほめ、子どもの長所を引き出す教師
④ 個性を発揮し、創意工夫し、かつ協働活動に情熱を注ぐ教師
⑤ 地域、保護者の信頼に応える教師

2 学校経営の方針

(1) 全職員が学校課題の掌握と共通理解を図り、学校教育目標の具現化に努める
(2) 児童一人ひとりのよさを伸ばすと共に、自己存在感、自己有用感がもてる学級経営に努める
(3) 基礎的・基本的事項を踏まえた指導内容の重点化を図り、児童一人ひとりの基礎学力の向上を図る（学年の積み残しをしない）
(4) 児童一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、自己認識を深め、目的意識の高揚に努める
(5) 生命尊重、健康安全、規則正しい生活、礼儀作法等の基本的生活習慣の形成に努める
(6) 人権教育・道徳教育を充実させ、いじめ防止に努める
(7) 教材園・一鉢運動等、学校環境の整備と活用に努める
(8) 特別支援教育の理解を深め、インクルーシブ教育等の推進・充実に努める
(9) 幼小中の連携及び学校・家庭・地域社会との連携を図り、発達の連続性による指導の充実及び地域の自然・文化の理解に努める

3 本年度の重点

(1) よく考え 進んで学ぶ児童の育成

① 児童一人ひとりに基礎的・基本的事項や思考力・判断力・表現力などの「確かな学力」の定着をはかる
② 「識名っ子のやくそく」をもとに、児童の発達段階に応じた学習規律を身につけさせる
③ 学校図書館を計画的に活用し、児童の主体的な学習活動や読書活動に資し語彙力を身につけさせる

(2) 心豊かで 思いやりのある児童の育成

① 教育活動全体を通して、生命及び人権を尊重する心を育てる
② 教師と児童、児童相互の温かい人間関係づくりに努め、社会生活のマナーやルールを身につけさせる
③ 花や木々等自然に親しみ、物を大事にする心情を育てる

(3) 健康で たくましい児童の育成

① 運動に親しみ、規則正しい生活習慣を身につけさせる
② 安全意識を向上させ、危険予知能力・危機回避能力を身につけさせる
③ 食事の重要性を理解させ、好き嫌いなく楽しく食事を取ることができる

Ⅰ-2 学校経営の体系

那覇市立　識名小学校

平成２９年度　重点目標と具体的方針

1　指導に関すること

教育目標	重点目標	具体的方針
Ⅰよく考え進んで学ぶ子 **思考力** **判断力** **表現力**	知識・技能	①読み・書き・計算力の確実な定着 ②授業と連動した家庭学習
	聞く・考える	③話をよく聞き、自分で判断する ④筋道をたてて考え、話す
	語彙力の向上	⑤読書に親しみ、知識や考えの深化 ⑥言語環境の整備・言語活動の充実
Ⅱ心豊かで思いやりのある子 **人間愛** **協力心** **自然愛**	道徳教育	①生命尊重・人権尊重・人格尊重 ②仲良く助け合い、思いやりのある言動
	基本的生活習慣	③気持ちよいあいさつや返事 ④ていねいな言葉使い
	環境教育	⑤優しい心で自然を愛する ⑥植物を育て命のつながりを考える
Ⅲ健康でたくましい子 **健康** **運動** **食**	健康教育	①規則正しい生活（てくてく運動） ②危険な遊びや場所がわかる
	体力向上	③なわとびを活用し、体を鍛える ④ねばり強く最後までやり抜く
	食育	⑤基本的生活（睡眠）の充実 ⑥栄養バランスを考えた食事

2　経営に関すること

開かれた学校	①学校公開をし、多くの来客を招き学校を開く ②教室を公開し、公開授業・教育相談を充実させる
信頼される学校	①学校経営方針を保護者・地域に公表する ②学級保護者会や個別の支援で児童・学級経営説明を行う
夢が広がる学校	①学校と地域のコミュニティ作り （人材活用・見守り隊・安全） ②夢実現に向けたキャリア教育の推進

Ⅰ-4 ＲＰＤＣＡマネジメントサイクル

１ 本校の課題（Ｒｅｓｅｒｃｈ）
(1) 基礎学力の定着 → 下位群児童（学習内容の３割未達成）の基礎学力の確認
(2) 表現力の向上 → 新聞への投稿・各種コンクール・対外行事への参加
(3) 開かれた学校 → 地域での子ども見守り、支え育てる学校共同体
(4) 信頼される学校 → 学校経営・学級経営のアカウンタビィリティ（説明責任）

２ ＲＰＤＣＡマネジメントサイクルで課題解決に努める

Reserch（課題把握） （１月～３月） (1) 児童の実態・現状 ①基礎学力の定着（学力検査：全国・県・市） ②表現力の向上 （投稿者・受賞者の把握） ③学習環境の把握（家庭環境・生活習慣） (2) 学校評価 ①学校評議員会 ②学校評価アンケート（児童・保護者・職員） ③学校経営方針→自己申告書・学級経営案	《検討》 検査データの分析 重点応募の検討 環境の把握 学校評価の検討 様式の検討 自己目標の検討
Plan（構想） （４月～５月） (1) 学校経営のイメージ→ 学校経営方針の理解 (2) 学級経営案の作成 → 学校経営の具体的実践 (3) 校内研修計画案 → 授業力・基礎学力の向上 (4) 教職員評価システム→ 学級経営構想	学級経営のマネジメント 学校経営とリンクした様式
Do（実践） （６月～９月） (1) 日々の授業の充実 (2) 授業力の向上・学習規律・凡事徹底 (3) 心の教育（道徳の時間を要にして実施） (4) 保・こども園・小・中の連携	教科計画の徹底 学習規律の徹底 豊かな心の徹底 スムーズな連携
Check（評価） （１０月～１１月） (1) 学校経営の評価 (2) 学級経営案の評価 (3) 児童の実態把握・分析 (4) 自己申告書での結果説明	学校評価ガイドラインの活用 学期毎の評価 学年の数値データ(WEBテスト・全国学力学習状況調査結果等)
Action（改善） （１２月） (1) 学校経営方針の見直し (2) 学級経営案の見直し (3) 学校評議員の活用・保護者への説明・協力願い (4) 教員評価システムの継続課題の重視	学校評価 教育計画の見直し 児童理解の把握 説明責任 課題の再確認